



天文学の扉を開こう

1月の夜空

はやぶさ2、地球帰還へ

およそ1年半、小惑星リュウグウに滞在していた日本の探査機「はやぶさ2」が、地球に向けて帰還の途につきました（想像図）。

はやぶさ2は、2014年12月に種子島宇宙センターからH-IIAロケットで打ち上げられ、およそ3年半後の2018年6月に小惑星リュウグウに到着しました。リュウグウは、太陽系形成初期の有機物や含水鉱物をより多く含んでいると考えられる小惑星で、太陽系の起源や進化、生命の原材料を解明するための手がかりを与えてくれると期待されています。

リュウグウ到着後、はやぶさ2は2度のタッチダウンを行い、リュウグウのサンプルを採取しました。特に、2回目のタッチダウンにおいては、事前にリュウグウの地表に弾丸を射出して、人工的にクレーターを作り出しています。この人工クレーター（おむすびころりんという愛称がつけられています）とその周辺では、宇宙空間に数十億年もさらされず風化していないリュウグウの地下物質が地表に露出しています。そこへタッチダウンすることにより、この貴重な地下物質のサンプルを採取することができたのです。

はやぶさ2の地球到着は2020年12月の予定で、リュウグウの表面や人工的に作ったクレーターから採取されたサンプルを入れた再突入カプセルを、オーストラリアのウーメラ砂漠に投下する計画です。一方、はやぶさ2本体は、そのまま宇宙にとどまります。そして、将来的には別の小惑星へ探査に向かうことも検討されています。

はやぶさ2が持ち帰る玉手箱の中には、いったい何が入っているのでしょうか？「開けてびっくり玉手箱」を期待して、もうしばらく待ってみましょう。



1月のぐんま天文台のイベント

・18日(土) 星空さんぽ

○星図の説明

1月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります(「月」を除く)。



リトルミュージアム

「紙皿サンタを作りました！」



さとう しおん くん
「大きくなったら、「サッカー選手」になりたいです！」



おおぶち きよたか くん
「大きくなったら、「警察官」になりたいです！」



わなじょう るな ちゃん
「大きくなったら、「お城に住む白雪姫」になりたいです！」



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしています(*^_^*) ☎26-7944 (直通)



関田 小淵 咲羽ちゃん(2歳)

私の名前は「さわ」です。産まれてからもなかなか決まらなかったけど…2文字で呼びやすく覚えやすい名前で、花が「咲く」ように周囲を明るくしてくれて、「羽」があるように自由にのびのび育ってほしいという願いを込めて、両親が名付けてくれました。

食べ物は、カレー、ラーメン、ハンバーグが好きです。ブロック遊び、おままごとで遊ぶのが大好きです！

★アンパンマンが大好きで、特に今はアンパンマンのグミにハマっています。毎日「グミ食べる！」と言って食べたがるので困っています、とママ。

こちら「10代目緑のふるさと協力隊」

明けましておめでとうございませう。ついに真冬の時期に突入しました。高山村の寒さはとても厳しいですが、空気が澄む季節でもあります。この時期、私は様々な山に登りましたが、この山も頂上から見る景色は最高です。近いうちに十二ヶ岳に登ってみようと思います。

寒さは厳しいですが、先月も農作業や食育教室、観光PRと様々な活動に取り組みました。

農作業では鍬を扱うことやマルチを畳む作業など、着任当時よりも慣れてきたことが自分でも分かります。

また、今回は観光PRで東京の有楽町まで行ってきました。そこでは高山村の農産物を販売しました。以前は高山村の農産物について知らないことが多かったが、今回はリングやピーツなどの魅力を伝えることが



できました。説明を聞いて買ってくれたお客さんもありました。4月に着任した時と比べると、日々の活動の中で少しでも成長できているのかなと思いました。

こうした日々の活動をより多くの方に知ってもらいたいと思い、今月から「岩山通信」という新聞を作ることにしました。高山村で感じた様々なことを書きましたので、こちらまでぜひご覧ください。

今月もどんどん焼きをはじめ、高山村の様々な行事に参加していきたいです。今年もよろしく願います。

緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori10.jugem.jp/>